

東進特別公開授業開催!!

【数学】志田晶 先生

日時:11月19日(土)
18:30~20:00

場所:比治山女子中学・高等学校



全国統一高校生テストに無料招待!!

日時:10月30日(日)

場所:東進衛星予備校段原校

アクシア三択クイズ

【先月の正解】

『B』

体重は赤道で計ると軽くなるそうです。

【今月の問題】

長野県が接している県の数はいくつでしょう?

A: 6つ

B: 7つ

C: 8つ

今月のTOPIX ~大学で学ぶ内容を知ろう(国際系)~

【グローバル化する社会と大学教育】

現代社会はますますグローバル化が進んでいます。グローバル化とは、社会的・経済的な関係が旧来の国家や地域などの境界を越えて、地球規模に拡大してさまざまな変化を引き起こすことです。ビジネスにおいても、従来のように日本国内をメインに取り引きをしているだけでは、世界的な競争に立ち後れてしまいます。そのため、最近ではこのようなグローバル社会で活躍できる人材を輩出することが、大学にも求められるようになってきています。グローバル社会において活躍するためには、英語が使えることが前提となっています。大学においても、英語で行う授業を増やすなどの対応をとっているところもありますが、まだまだ十分とはいえない状況です。そのようなグローバル人材の育成に力を注ぎ始めた大学も徐々に増えてきています。

【グローバル教育の実例】

東京大では、正課の授業とは別に、グローバル人材育成のためのプログラムを提供しています。これは、Global Leadership Program (GLP) というもので、2014年度よりスタートした特別教育プログラムであり、国際社会における指導的人材を育成することを目的としています。対象は学部学生(募集時期は学部2年次、ただし教養学部英語コース(PEAK)学生は1年次)で、GLPの後半2年間のプログラムをGLP-GEFIL(Global Education for Innovation & Leadership)と呼んでいます。東京大の学生でGLP-GEFILの履修を希望する者は2年次の8月末までに応募申請します。なお、申請するためにはGLP指定科目を6単位以上取得しなければなりません(見込みでも可)。このGLP指定科目は、自身の必修科目とは別に履修する必要があります。そして、書類審査と面接審査を受けてそれに合格した者がGLPGEFILを履修することができます。募集人員は100人程度を上限とし、主に次のような基準で選考されます。

◇将来のグローバルリーダーとして、国際社会において先導的役割を果たしたいという強い意志を有すること。

◇高水準の英語のコミュニケーション能力を有すること。

GLP-GEFILは、東京大を代表するグローバルリーダーを全学で育成するプログラムで、選抜された学生を対象として、分野横断型の特別教育プログラムが提供されます。授業はアクティブラーニング形式で、すべて英語等の外国語で行われます。このプログラムは「GEFIL 実践研究」、「GEFIL 海外プログラム」、「グローバルリーダー講義」、「GEFIL 共通授業科目」から構成されています。「GEFIL 実践研究」では、各学生は、「サステナビリティ」、「グローバル・ヘルス」、「ピース・ビルディング」、「ダイバーシティ」、「グローバル・エコノミー」の大きなテーマ群の中で、研究課題を設定し、メンターの指導や助言を得つつ、研究プロジェクトを計画から発表まで実行します。また、「GEFIL 海外プログラム」として3年次と4年次にあわせて2回、海外トップレベルの大学のサマープログラムに参加する機会が設けられています。「グローバルリーダー講義」では、世界の第一線で活躍する企業家、国際的専門家等を招き、地球規模で生じる「現実」の問題に対してどのように行動してきたのかなどについて実際の話を聞き、原則として英語での質疑を行います。この科目では、問題解決のためのアイデアや立案方法に関する「有意義な対話」を目的としています。「GEFIL 共通授業科目」は、高度なグローバル教養や、実践的な外国能力の育成、アカデミック・スキルの獲得等を目指す授業科目群です。全体を通じて海外トップクラスの大学の研究者・学生、企業や国際的な専門家との出会いや交流を通じて、参加学生が主体的にグローバルリーダーとしての実践力を身につけることを目指しています。なお、自身の所属学部のカリキュラムと並行して学修を進めるため、GLP-GEFILの授業は主に週末や夜間に開講します。

